

福島県  
田村市

07-211-A001

37°21'19.9"N  
140°39'46.6"E

288-28-19-1

デザインの由来

星の村天文台

あぶくま洞

設置開始 2018年

田村市滝根町にある「星の村天文台」と「星空」を色鮮やかにデザインしたマンホール蓋です。阿武隈高原一帯の上空は、多くの天文家たちが「美しい星空の宝庫」と称える澄み切った空で、同地域の中央に位置する名所・あぶくま洞周辺は「星の村」と呼ばれています。本デザインのモチーフとなった星の村天文台は、最先端の天体観測施設として平成4年に開館しました。同天文台の一番の自慢は、福島県内最大級(口径65cm)の反射望遠鏡を備えていることにあります。四季を通じて美しく壮大な星空を堪能できるこの施設には、毎年、県内外からたくさんのお客が訪れます。

1804-00-001

あぶくま洞管理事務所 ©GKPマエプロ

三重県  
伊勢市

24-203-A001

34°29'17.2"N  
136°42'25.1"E

820-47-8-1

デザインの由来

伊勢神宮(内宮)

歌川広重画「伊勢参宮 宮川の渡し」

設置開始 1993年

江戸時代、ほぼ60年に1度の周期で、人びとが参宮に熱狂する現象がありました。原因は定かではありませんが、例えば「皇大神宮のお札が降ってきた」などの伊勢神宮の噂が流れると、それを聞きつけた民衆が白衣に菅笠を身につけて杓を持ち、集団で伊勢神宮をめざしたのです。沿道の方々もその旅を支援し、おかげで無一文でも参宮が叶えられたことから、神様のおかげという意味で「おかげ参り」と呼ばれるようになりました。本デザイン蓋は、「おかげ参り」から伊勢を発信するために製作したものです。今も昔も変わらない日本人の心の故郷・伊勢神宮をはじめとするお伊勢さんを、感じてください。

1804-00-001

伊勢市駅観光案内所 ©GKPマエプロ

福岡県  
大牟田市

40-202-A001

33°01'53.6"N  
130°25'29.9"E

838-24-0-1

デザインの由来

大蛇山

世界遺産宮原坑

設置開始 2018年

大牟田市は、2017年3月に市制100周年と下水道60周年を迎えました。それを機に、市制100周年を記念して誕生した公式キャラクター「ジャー坊」と、2015年に世界文化遺産に登録された「三池炭鉱宮原坑」を図案化して製作されたのがこのデザイン蓋です。背景にちりばめられた60個の星は、下水道60周年を表現。ジャー坊は本市の夏まつりに登場する「大蛇山」の蛇から命名された大蛇の化身で、炭鉱のまちの人々からもらったつるはしとヘルメットがお気に入りです。宮原坑は、現在も1901年に完成した第二竪坑の施設が保存・公開されており、レンガ造りの巻上機室や銅製のやぐらが当時の姿を偲ばせます。

1804-00-001

大牟田市役所 企業局庁舎 ©GKPマエプロ